



発行 ドンキーワールド  
〒854-001 長崎県諫早市八天町 6-17  
電話・ファックス (0957) 22-9569  
Eメール manbow1388@yahoo.co.jp  
ドンキーワールドは手作りのパンなどを販売や軽印  
刷物を作成している障害者の小規模通所作業所です。  
ホームページ  
<http://www.geocities/manbow7jp/donky2003/>

## バージョンアップでドンキーワールド12年目に!!

### 11月15日は開店記念日：12年になります

平成6年11月15日に諫早八天町のアーケードで産声をあげた小規模作業所ドンキーワールドは、多くのみなさまの暖かいご支援のより、12年目を迎えることができましたことを、利用者およびその家族とともに心より感謝いたしております。

### リニューアルしたドンキーワールド

これを機に、ドンキーワールドを大改装しました。10月から施行されている障害者自立支援法の新施設体系に移行するためにも、作業所のスペースを広げることが必要だったのです。改装したドンキーワールドでは、車椅子3台の移動、特にトイレの移動もスムーズになり、

メンバーにとっても、職員にとっても心地よい空間ができあがりました。なお、この大改装はドンキーワールドの恩人の資金協力により実施できましたことを報告しておきます。

### ドンキーワールドの運営主体がNPO法人に

ドンキーワールドの運営主体であるマンボウの会は9月1日より特定非営利活動法人(NPO法人)マンボウの会になりました。私たちは、障害者福祉の発展のために、地域の皆さまと共に歩みを進めていく所存です。今後ともみなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

庄子 裕子

(NPO法人マンボウの会代表)

## ゆたかな作業所空間づくりをめざして

障害者の自立を支援する法律であるべき障害者自立支援法が、全国の障害者を苦しめています。何をしても1割負担がつきまとうようになりました。そして私たち障害者が働いている作業所にも大きな問題が降りかかってきました。それは今までの小規模作業所は、法人格を取り新施設体制に移送しないと補助金は打ち切りというものです。補助金が打ち切れられれば作業所の運営がストップし、私たちの働く場がなくなってしまいます。

ドンキーワールドのメンバーたちは「働くところがなくなったら困る」との思いでしたが、みんなの協力でNPO法人を取り、新施設体系への移行にとりかかることになりました。まず、今まで借りていたところを大家さんの善意で買い取ることができ、作業所の空間を約3倍に広げる大改装を工事をしました。今では、電動車イスがスムーズに動けるようになりましたし、作業もしやす

くなりました。昔のドンキーワールドを知っている人を見ると、驚くぐらいの変化だと思えます。壁には現代の巨匠の絵が掛けてあり、メンバーの持ち物を入れるロッカーはオレンジとホワイトのドアが取り付けられてあり明るく心の豊かさを感じる作業所になったと思います。

また、メンバーが自信と責任を持てるように、新たに役職を決め、それぞれが頑張れるようにしました。

私はこう思います。人間が充実した生活をおくるには三つの空間「働く空間、余暇の空間、体を休む空間」が必要です。それは私たち障害者だって同じです。働く場所をなくしてはならない、作業所は形を変えても残さないといけないと思います。そのためにも私たち障害者が本気で頑張らないといけなと思えます。

大賀 誠





# ドンキーでの四年間に感謝!



久しぶりに「買って頂戴」の記事を書くことになりました。一年半以上のご無沙汰でしたが、ドンキーではその間、より多くの方々に私たちのことを知って頂くため、個人が Blog を開設し、仕事やプライベートな出来事などを簡単に紹介しています。作業所通信も再開したばかりですが、わたしは10月から就職のため、四年足らずお世話になったドンキーワールドを離れます。作業所では、パソコンに関する手法を学び、ただ文字を入力するだけではなくインターネットを活用し、視野が広がりました。

いま、私たち全ての障害者は「障害者自立支援法」という制度に悩まされています。私たちの生活の中で最も

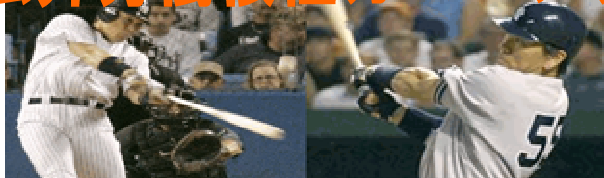
身近で避けて通れない法律なのです。自立支援法が施行されることで私は就職を決めたとは言えませんが、これからの行方が心配です。

私の就職活動は3年がかりで、やっと実りました。これからの抱負としては、これから大変な事が待ち受けている事と思いますが、一般就労は初めてなので後に繋がるように日々、努力をしたいと思います。

みなさん、カタの力をぬいて行きましょね!  
ドンキーのみなさんには本当に感謝しています。Myブログの「はな×はな日和」はこれからもできる限り続けたいと思っていますのでよろしくお祈りします。

辻 直子

## 松井秀樹根性カムバック



## 泉桃子 19歳です

今年の3月14日からドンキーにきました。私のなまえは、泉桃子です。よろしくおねがいします。まだ、なれていませんけどよろしくおねがいします。しごとをがんばっています。

ちいさいときから絵をかきました。私は小学4年生のときも絵をかきました。そんな絵がとうきょうまで行って、学校にもどってきました。うれしかったです。しょうじょうをもらい、にんきものになりました。いまでも、絵をかいています。いっぱい絵をかいていきたいとおもいます。

アメリカではヤンキーズの松井選手が大けがをなおして、ふっきせんで4安打しました。うれしかったです。テレビで10月3日の巨人対横浜を見ました。鈴木と、イ、スノヨブと高橋がヒットを打ちました。5対1で巨人が勝ちました。らいねんは原巨人がゆうしようにできるようにがんばっておうえんします。

畑山 裕

\*写真は松井秀喜公式ホームページより抜粋



## ロンロンの独り言



ドンキーの改装工事も終わり、作業所が広くなりました。みんなのほしかった個人ロッカーもできたし、畳一畳分の腰掛けるスペースもできました。昼の弁当も、テーブルを囲んでできるようになり、より普通の生活に近づいたと思います。

そしてロン子の場所もできました。とっても嬉しいワン。暑い中をいろいろ工夫しながら工事してくれた無限工房の山田さんと大工の竹村さんには心から感謝しています。みなさん、リニューアルしたドンキーワールドにぜひ遊びにきてください。

本当にありがとうワン、ワンオ〜!!



「夢のチューリップ」 絵：泉桃子

\*ドンキーワールドに、またユニークなメンバーが加わりました。その名の通り、泉のようにさわやかで、桃の花のようにかわいい「イズミモモコ」さんです。



# ドンキーワールドはメンバーも変化中

近年は変化が激しい時代です。障害者福祉においても法律から現場への変化が起きています。皆さん、もうとっくにご存知と思いますが、障害者自立支援法の影響で日本の全ての障害者や現場に変化が起きています。福祉サービスを利用すると一割負担が原則として徴収されています。今の時代を反映しています。利益重視、貧富の格差、人権、自己責任、自己決定、平等、公平など、キーワードは現代もたくさんあります。状況は個人によって全て違うが、法律のもとでは全て平等であることにのっとり定率負担になってしまいます。人権、自己責任、平等など重要なことです。しかし、それらの言わんとする深みの言葉をうまい具合に現代の風潮として障害者自立支援法に利用されていると思います。

ところで、ドンキーワールドは室内が広くなりました。以前は車いすが2~3人と5人ぐらいで動けないぐらい狭かったです。今は15人ぐらいいても動ける余裕があります。今、ドンキーワールドではパンの販売、印刷業務が中心です。大企業にあるようなプリンターもあるので、多量の印刷も可能です。新しくパソコン教室も行っています。パソコンにさわったことがない人にでも、わかりやすく教えています。ドンキーワールドは作業所の中では、ITの最先端をいっています。メンバーはみんなキャラが強くバラバラです。バラバラだからこそ新しい可能性もあります。ドンキーは変化中です。

徳永 真一

## わすれないで...ありがとうの気持ち

ここ数年、毎日のように新聞やテレビの報道で児童虐待や親が子どもを殺す事件を目にする。毎回見聞きするたびに私は何ともいえない悔しい気持ちで腹がたって涙が止まらなくなる。私はまだ結婚もしていないし、子どももいないので、偉そうなことは何も言えないけれど自分が幼いとき、親からもらった愛情や、家族について、そして、いつか自分が親になった時の気持ちを考えてみても、こういったことをする人間の気持ちが全くわからない。いや、こんなことはわからなくてもいいことなのだけれど。事件の犯人達は、世の中には子どもが欲しくてもできない人や、新しい家族を持ちたくてもできない人のことなど少しも考えていないのだなあと思ってしまう。

人間は成長して社会に出るといろいろな人と付き合いなければいけない。そのいろいろな人間関係の中でも家族ほどありがたくてあたたかいものはない。大人になった今、わたしは子どもの時以上に毎日家族のありがたさを感じている。結局戻って来るところは家族なのである。家族でなくてはいけないと思う。こんな残酷な事件を起こす家庭ほど子どもがたくさん家庭が多いが、このような親は子どもを持つ資格や家庭を守る資格などない。まったく不愉快極まりない。犬や猫など他のどんな動物でも自分の子どもを捨てたり、殺したりそんな残酷なことは決してしない。人間は犬猫以下であると私は思う。子どもには親しか頼る人がいないのだし、親からたくさんの愛情をもらうのを待っているのである。親も子どもも

お互いに血を分けた、たった1人しかいない大切な存在なのだ。どんなに子育てが苦しいとか大変とか思ったとしても絶対に、お願いだから殺すなどということは考えないで欲しい。

私は物心ついたときからよく理想の家庭像を思い浮かべていた。それは今でもそうである。障害をもって生まれて、母ひとり子ひとりで育て、唯一母以外の肉親は祖母だけという環境で育ったためだと思うが、結婚や家庭に少し大きすぎる憧れや理想がある。でもそれが最近を重ねていくにつれて「もう、無理かもなあ」と感じるが増えてきているので、こういったニュースを見ると、いたたまれなくなってしまい今回はこのことをテーマにしようと思ったのである。

これを読んでいる全ての人に最後にもう一度、いつも側にいて支えてくれる家族をどうか大切にしてください。そして、ありがとうの気持ちを忘れないで下さい。今後これ以上家族を巻き込む悲惨な事件が起きませんように・・・

鈴木 晶子





# ありがとう! 赤い羽根

- ・昨年度の赤い羽根共同募金で、利用者用の液晶ディスプレイとコンパクトハードディスクを買わせていただきました。
  - ・おかげさまで色鮮やかな画面でホームページなどを見たり、コンパクトハードディスクを使いデータの整理ができるようになり、本当に助かっています。
  - ・今回は2月の交流旅行に行くためのメンバーの旅費の一部にも充てさせていただきました。参加した利用者は、九州地区の仲間達と楽しい交流ができました。
- 赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆さまに、心から感謝しています。



パソコンの液晶ディスプレイとコンパクトハードディスク(手前)

## ドンキーのオリジナルカレンダー



井原麻衣さんが心を込めて描きました

昨年大好評により今年も販売します。

壁掛け 400円 CD型 250円

## 出直してよ! 障害者自立支援法

### 10・31大フォーラム

・10月31日、私は「きょうされん長崎」のメンバーの一員として、『10・31 出直して「自立支援法」大フォーラム』に参加した。私は、班長の畑山さん(ウイル)他5名で衆議院議員会館で、19名自民党・民主党の議員への陳情をしたのだが、議員本人が対応してくださったのは、各政党1名ずつ2名だけだった。

昨年から、「民主党」はこの法律に1割負担の【凍結】を提出していることもあり、「秘書」の対応も「がんばってください」と言うようなものを感じたのだが、「自民党」は【義務的】に「受け取りました」と言うような感じがした。行く前から「自民党」はあてにはしていなかったが、まさかこれほどまでに、「無視」されるとは思ってもしなかった。

「予算がない」というだけで、「生活弱者」をいじめている『政権政党』のやることだろうか??? 中には「地元からの訴え」に心が揺れている議員もいるのではないだろうか.....。 碓 勝好



## 編集後記

- ・ やっと「買って頂戴29号」ができあがりしました。なんと1年6ヶ月間のご無沙汰でした。地域の中で育てられ、成長してきたドンキーワールドとそのメンバーたち、そして、その地域社会への感謝の気持ちとして発刊しはじめた作業所通信「買って頂戴」なのに、忙しいことを言い訳にこんなに長い間休刊したことを反省するばかりです。
- ・ ドンキーワールドの運営がNPO法人に変わったことを機会に、今回から編集のほとんどをメンバーたちがすることになったので、1年4回の発行が可能になるでしょう。みなさんのご意見・ご感想をお願いします。
- ・ 2006年も残すところ2ヶ月になりましたね。年賀状の時期となりましたが、ドンキーワールドのパソコン教室での年賀状作りを、ちょっと覗いてみませんか? (H.S)